寄稿

片岡地区民生委員児童委員協議会

会長　大塩　壽郎

片岡地区民生委員児童委員協議会は、矢板市の法定地区民生委員児童委員協議会のうちの一つです。

■「民生委員・児童委員」って何？

民生委員・児童委員は、高齢者や児童、保護者の福祉の多様な要望に積極的に対応する厚生労働大臣の委嘱を受けた地域の相談・支援ボランティアです。

片岡地区民生委員児童委員協議会は、昭和四十三年十二月一日に設立しました。本地区は、交通の利便性が高く、産業団地が立地している地区です。このため、新興住宅が多く、新旧住民が暮らすこの地区で、片岡地区十六名の民生委員児童委員および主任児童委員が協力し合い、各種事業に取組み継続的に活動しています。

■活動内容

毎月一回の定例会を開催し、各委員が地域における活動の中でとらえた様々な福祉問題を話し合い、必要に応じて関係機関に連絡等関係行政機関との連携強化に努めています。

各委員は、毎月一度誕生月にあたる八十五歳以上の高齢者に対し表敬訪問を行い花束のプレゼントを贈ったり、社会福祉協議会が実施している老人給食をボランティアとして週に一、二度配布したりと、在宅高齢者への援助活動を積極的に取り組んでいます。

また矢板市内の学童保育のおやつ作りを実施、配布するほか、片岡児童館の行事に積極的に協力し、児童の健やかな育成に関する活動を積極的に行っています。

学校等との交流促進を行事ごとに行うほか、登下校時に交通見守りを行っています。

■結びに

昨年度は、厚生労働省大臣表彰を受賞し、また、今年度においては矢板市市政功労者表彰を受賞しました。

これからもみんなと力を合わせて頑張っていきたいと思います。

岡目八目

県民の森 事務所長

福田　泰久さん（45歳）

県の指定管理者として昨年から県森林組合連合会、たかはら森林組合、高原林産企業組合の三社の共同経営により運営されている。

鹿沼市生まれ、そして現在も鹿沼市在住。通勤は鹿沼から佐貫、塩谷町経由で約1時間ほど。

趣味はハイキング、バイク。400ccのバイクで仲間とツーリングを行う。（でも奥様は同乗しないそうです。）

■矢板の第一印象は？

勤務地としては矢板市は今回が初めてになります。私の第一印象はまず、リンゴのイメージが強い。そして製材所が多く、森林もよく整備されている。苗木から手入れしている矢板の人の几帳面さが出ています。

それにやはりツツジです。八方ケ原のツツジ群、県内では数少ない名所だと思います。

■矢板のお気に入りの食堂は？

昼食は愛妻弁当です。以前、出張した時に市役所前の蕎麦屋で食べた蕎麦とうどんの「合い盛り」が気に入っています。

■矢板の人柄について

情が深いと感じています。例えば、何かを聞くと親切でしかも適切に教えてくれます。

仕事をキッチリ行い、真面目でアイマイに終わらせない。子どもの頃から真面目な習慣を身につけるよう教育されたのではないかと思います。

■県民の森としての今後の課題は？

管理事務所では、遊歩道の維持管理や森林に関連するイベントの企画を行っています。

最近自転車で来られる方が増えてきたので、駐輪施設を作ろうと思っています。また管理事務所では各種イベントを企画しているので、参加者のための軽食設備も検討課題だと思います。

■管理事務所からのPR

県民の森には森林展示館、木工体験室があり、解説員がたかはらの歴史や鳥獣に関することの解説の他体験教室も行っています。

野鳥観察は、土曜・日曜に現地を案内する企画を実施することもあるので、お気軽にお問い合わせください。

冬季の雪は平年では約十センチ程の積雪がありますが、矢板から寺山ダムの県道272号線は除雪車が入ります。十二月は有料ですがミニ門松づくり（参加費・五百円）を計画しています。専門家が来て縄の絞め方や各ポイントを丁寧に指導してくれます。

そのほか年間を通じて毎月イベントを計画していますので、県民だよりなどで内容を確認して、ぜひご参加ください。

（T・M）

編集後記

いよいよ一年の最後を締めくくる月になりました。皆さんも何かと気忙しい毎日を過ごされていることと思います。今年一年、日本を見ても、世界を見ても、いろいろな出来事がありました。来年こそ平穏無事な年になりますよう、願いを込めて新年を迎えたいと思います。